

2月10日生活科学科1年生は西脇ロイヤルホテルにマナー実習に行きました。その際、2年生4名がインターンシップでお世話に



なっており、テーブルへの給仕について指導していただきながらお茶やお水をいれていました。1年生はそういった2年生の姿も見ながら、料理長の話を聞き、懐石料理と会席料理について食材の話と共にメモをとりながら食事をしました。2年生は前日にコース料理をいただいたようで、とても満足げな顔で給仕の仕方についての指

導を聞いていました。近くでこのような機会をいただけることに感謝しながら、この経験がしっかりと学科生に活きていっていることを実感しました。

毎日新聞朝刊には連日本校の記事が掲載されています。保護者会代表の斉藤様の記事(12日)と戦略明確に攻撃力成長(11日)です。この後も学校紹介のような形で記事が掲載されるようです。細かなところまで見て記事にさせていただいているようです。一度ご覧ください。

そして、2月15日は推薦入試、特色選抜入試でした。本校の受検生は、体育科70名(定員40名)、生活科学科30名(定員20名)、看護医療類型33名(定員24名)となっています。新型コロナは少し落ち着きつつありますが、インフルエンザの同時流行もあり、受検生も体調管理が難しかったと思います。当日は欠席もなく、非常に寒い中ではありましたが、全力を尽くしてくれたと思います。合格者発表は20日です。

報告が遅くなりましたが、2月8日、2年生普通科校外研修で地元産業・企業研究をしてきました。写真順に加東市商工会と社商店連合会、東条湖リゾート、東条の森カントリークラブ、アスカカンパニー(株)、JMACS(株)の5カ所です。それぞれクラス毎に行ったのですが、詳細な説明を受け、実技をさせていただいたり見学をさせていただいたり、地元企業の理解を深めることができました。ご協力いただいた企業、商工会の皆様ありがとうございました。



「校長室から」も目標の75号となりました。昨年と同じ目標ですが、去年は74号で終了してしまい、目標達成できませんでした。今年度はすでに75号ということでそれだけ話題に富んだ1年を過ごしているということでしょうか。まだまだお伝えできていないことも多々あるのですが、本校の教育活動の一端を見て頂く機会と思っています。さらに今年目標で掲げた生徒全員面談も先週達成。700名の面談が終了しました。学年の先生方、生徒の皆さんの協力あってこそですが、3年間通して面談するとかなりの成長の跡がうかがえました。また学校の考えていることも生徒達に理解してもらった機会になったと思います。1年生はまだ将来に目を向けることができている人も多いようですが、考えるきっかけになった面談だと思いますので、今後の成長に期待したいです。2年生は成年年齢一歩手前という自覚を持たせる話をしたつもりです。創立110周年を迎える今年を左右する学年となりますので、最上級生としての自覚と成年の責任を持って行動できるようになってください。3年生はいよいよ次のステージに旅立ちます。それぞれの進路に向かって社高校での学びを発展させてください。

新型コロナ感染、インフルエンザと減少傾向は見られるものの完全終息にはほど遠い状況です。マスクの扱いも変わってきてそうです。それぞれの状況に応じた判断が求められますので、対応策をしっかりと考えましょう。